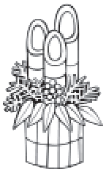
一般財団法人
徳島県遺族会
会報

発行所
徳島市雑賀町
東開21番地１
一般財団法人
徳島県遺族会
TEL（088）636－3212
FAX（088）636－3213
http://izokukai.jp/
発行責任者
増矢　稔
印刷
グランド印刷㈱

明けまして おめでとうございます

一般財団法人 徳島県遺族会会長　**増矢　稔**



　ご遺族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、日頃は徳島県遺族会の事業活動に対しまして、格段のご支援とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

　昨年は戦後七十五周年の年であり、重要な事業を多く計画していましたが、新型コロナウィルス感染症の拡大に伴い、その多くを延期、又は中止といたしました。しかしながら、私たち遺族は、史実に学び、恒久平和を目指す活動を、常に続けて参る責任があると考えております。

　そこで、国の為に尊い命を捧げられた御祭神の家族が、我が子、兄弟、夫、父等を見送る際に抱かれた「無事の帰還を思う愛慕の情」を後世に伝えるため、「出征を見送る家族の像」を本会で制作し、昨年十月十六日、靖國神社に奉納いたしました。

　また、平成二十六年十月五日に開館いたしました「徳島県戦没者記念館 ―あしたへ―」におきましては、ご英霊の写真の掲示数は昨年末で八、一〇三柱となり、毎月第二土曜日に開催しておりました「語り部事業」は三月から延期しているものの、会員の皆様方の運営協力によりまして、昨年末で約四万二千人の方にご来館いただきました。

　これもひとえに、各地区会長をはじめとする役員の皆様、そして何よりお一人お一人の会員の皆様のご尽力、ご協力の賜物であります。今後とも、この流れを止めることなく、さらに多くの皆様にご来館いただき、戦争の事実と平和の尊さを語り継いで行く活動を進めて参ります。

　さて、本会は今年で創設七十周年を迎えることとなります。この機に「七十周年記念誌 ―あしたへⅡ―」を発行することとし、「護国神社の城山山頂からの移転」「戦没者記念館の建設」「戦没者を見送った家族像の建立」「出征を見送る家族の像の靖國神社奉納」等をはじめとする諸事業の実績を掲載することで、五十周年記念誌と併せて本会の歴史が全てわかる記録を残すことといたしております。

　戦没者遺児の平均年齢もいよいよ八十歳となり、高齢化が進みつつある本会ではありますが、引き続き遺児世代の活動を鋭意進めるとともに、次の時代を託す青年部活動の活性化につきましても支援して参ります。会員の皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

　本年も組織として一致団結し、国の繁栄と安泰を念じつつ散華されましたご英霊に対して、改めて尊崇の誠を捧げ、英霊の顕彰と遺族福祉の向上に力強く前進して参りたいと考えております。

　結びにあたり、ご遺族の皆様方にとりまして、本年がより良き年でありますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年　令和三年元旦

徳島県遺族会

会長　増矢　稔
副会長　吉川精二
〃　上浦喜代志
〃　坂千代克彦
〃　小笠　功
〃　萩原一徳
〃　濱　順子
理事　井上　晃
〃　緒方和子
〃　杉本敏則
〃　上田哲夫
〃　古林勢一郎
〃　赤瀬敏幸
〃　池添哲哉
〃　松原良明
〃　市原英俊
〃　後藤田重喜
〃　木下豊幸
〃　佐々木厚子
〃　高井　勉
〃　東　功
〃　谷渕孝雄
〃　亀代高男
〃　近藤隆弘
〃　上地正吉
〃　山口博視
監事　福良　昭
〃　大平敏之
〃　林　収一
事務局長　森吉雅史
事務局職員一同

英霊にこたえる会徳島県本部
会長　中西祐介

徳島県護国神社
宮司　坂田敏郎

第五十五回 沖縄「徳島の塔」慰霊参拝

終戦から七十五年をむかえた令和二年十一月十日から十一日までの二日間、徳島県遺族会では、沖縄「徳島の塔」慰霊参拝を行いました。今回の参拝団は、上浦喜代志副会長を団長とし、徳島県庁からは正木孝一保健福祉部副部長、久米篤司保健福祉政策課係長にご参加いただきました。

十日の沖縄到着後、まず沖縄県護国神社へ正式参拝を行い、徳島県遺族会より千羽づるを奉納いたしました。

慰霊祭は十一日、糸満市摩文仁ハンタ原「徳島の塔」前広場において、沖縄県、沖縄県議会、糸満市、沖縄県平和祈念財団、沖縄県遺族連合会、沖縄徳島県人会の方にも御臨席いただき、十一名で厳粛に執り行いました。

祭典は参列者全員の黙祷に始まり、沖縄県観音寺元山善弘住職の読経と続き、上浦団長による祭文の奏上、その後、徳島県知事、徳島県議会議長の慰霊の言葉が述べられました。続いて、参列者一人ひとりが焼香を行い、最後に上浦団長の謝辞をもって祭典を終了しました。

祭典終了後には、参列者全員で平和の礎を巡り、御英霊を偲ぶとともに心から感謝の誠を捧げ、平和への誓いを新たにいたしました。

なお、今回の参拝は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、当初予定を変更、短縮するとともに、関係者のみでの開催といたしました。

地方だより

令和二年度「北島町戦没者追悼式」挙行

北島町では十一月七日(土)午前十時より、中央公園にある戦没者供養塔の前で、令和二年度の「北島町戦没者追悼式」が行われました。

例年は多くの来賓の方々をお迎えして、北島町総合庁舎で行われていましたが、今年は新型コロナウイルス感染リスクを考慮して、古川北島町長及び粟田民生児童課長以下三名、来賓として北島町遺族会の西会長以下八名の参列により少人数で屋外の特設テントで実施されました。

式典は拝礼、黙祷に続き、古川町長の式辞、参列者の献花と厳粛にすすめられ、英霊のご冥福と平和の継承をお祈りしました。

北島町遺族会

ホームページ随時更新中!!

アクセス数 105,900　(R2.12.28現在)

各種行事、記念館の語り部事業、慰霊巡拝等の最新の情報をお知らせしています。

携帯・パソコンの検索欄に

徳島県遺族会　もしくは

徳島県戦没者記念館　で　検索

携帯電話のバーコードリーダーで下記QRコードを読み込んで下さい。

ホームページのアドレス

URL　http://izokukai.jp/

支部だより

㊗ 百歳のお慶び

谷崎　ツネ子さん（阿南市）

阿南市新野町葉池谷の谷崎ツネ子さんが11月１日に百歳のお誕生日を迎えられました。中堅農家の一人っ子として生まれました。

すぐ近くの親戚で遺族会の先輩も長寿表彰を受けられていますのでご長寿のお家柄とも云えるでしょう。

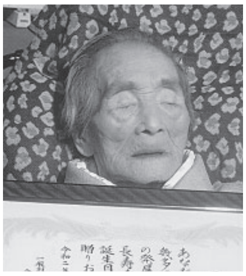
一男一女を立派に育てられ、特に長男優善さんは新野遺族会青壮年部長として大活躍されております。ツネ子さんは婦人部員として徳島県護国神社正門前に高額寄付者としてお名前が刻まれております。

晩年ツネ子さんは市内の医院へ入院されています。

御長寿をお祈りいたします。

新野地区遺族会会長　佐野本　宏幸

西岡　クマヱさん（那賀町）



那賀町林谷の西岡クマヱさんが10月29日に百歳のお誕生日を迎えられました。

徳島県と那賀町から、それぞれお祝い状と祝い金が、また、徳島県遺族会からもお祝い状と記念品が贈られました。

クマヱさんは大正９年生まれで、昭和18年11月に戦争で夫を亡くし、農業をする傍ら女手一つで長男、長女、次女を立派に育てられ、頑張ってこられました。

現在は、特別養護老人ホームに入所され元気に過ごされております。最近、特養でお誕生会をしてくれました。写真はその時の一枚です。

那賀町内に家族の方もおいでるので、時々お顔を見に来てくれますが、現在は新型コロナウイルス感染拡大のため、面会はなかなかできません。家族も収束を願っています。

これからもお元気で過ごされますよう、会員一同心よりご祈念申し上げます。

上那賀地区遺族会会長　府殿　長治

戦没者記念館だより　― 写真展示数　8,103柱　(R2.12.28　現在) ―

令和２年1月から令和２年12月までのアンケート調査結果については以下のとおり。(対象者343名)

▶ アンケート概要

①【来館のきっかけ】は、「遺族会」23%、「家族」17%、「新聞」が14%の順。

②【来館の目的】は、「展示の観覧」33%、「遺影を見るため」23%。「学習・教養を深めるため」16%、

③【来館されての感想】は、「非常に満足した」が53%、「満足した」が43%と、両方を足すと96%。

④【来館者の年齢等】は「70歳代」27%、「50歳代」16%、「40歳代」14%、「60歳代」13%、「30歳代」10%、「80歳以上」8%、「20歳未満」7%、「20歳代」4%、の順。

来館者の遺族の割合は56%。

▶ 来館者の感想等（自由意見：14の意見から抜粋）

- 徳島新聞の記事を読んで、子供達と戦争について学びたく来館しました。子供達には、戦争で勝つのも負けるのもなく、得る物もない事、繰り返してはいけない事を伝えているが、自分の理解も浅く、もっと学び伝えて行きたい。顕彰の遺影を見るだけで辛く悲しい。皆さん、鉄の心をもった人間だったのではなく、我々と同じように大切な人がいて、大切に思っていた家族もいた事を忘れてはいけない。(30代女性)
- 実際の召集令状や戦死の公報を見て心が痛くなりました。遺影の方々のおかげで、今、私達は何不自由なく生活できているのですね。心からありがとう。(30代女性)
- 新聞の感想文を書く為に新聞を見ていると、この記念館の記事が目に入り、家族と来館しました。戦争とは二度と繰り返すことは許されないことで、大勢の方が亡くなった。苦しみながら悲しみながら亡くなっただろうと、心が締め付けられた。泣きそうになった。防ぐことが出来なかった戦争。今では昔の事のように皆感じているが、70年位前の事である。(10代女性)
- ボランティアの方、大変ご苦労様です。(80代男性)
- 12月から硫黄島で勤務します。戦没者の方々の想いを考えて勤務したい。(30代男性)

新年のご挨拶

参議院内閣委員長
一般財団法人日本遺族会会長
参議院議員
水落敏栄

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。

昨年は世界中に蔓延した新型コロナウィルスに翻弄された一年となりました。

政府は未知のウィルスに対し、医療体制の強化整備を手始めに、全国の小中高等学校等の一斉休校をはじめ、緊急事態宣言を発令するなど、大胆な取組みを実施しました。

マスク、手洗い、うがいや「三密」を避ける行動により、感染者が減少し、緊急事態宣言は解除されました。わが国が現在まで、人口比でみても感染者数、死亡者数とも世界的に低い水準で抑えられているのは、医療従事者の皆様のご奮闘と、国民お一人お一人の他者へのいたわりが生んだ結果であり、ご協力に対し改めまして心より感謝申し上げます。

未曾有の事態に、政府は三度にわたり大規模な経済対策を打ち出しました。生活保障として個人への現金給付、会社員等への休業補償や中小企業等への貸付支援、景気浮揚策としてGOTOトラベル、イートなど観光、飲食店支援、包括支援として、雇用調整助成金の延長、医療体制整備強化など、大規模な予算措置を実施しております。国民の皆さまの献身に報いるためにも、政府与党一丸となってきめ細かな支援を続けてまいります。

ウィズ・コロナの生活は、多方面に大きな変化をもたらしています。リモートによる在宅ワークや時短勤務などの働き方改革は、東京から地方への移住や、家族との時間を増やすライフ・ワークバランスの見直しを促しています。

遺族会においても、会議等は中止や書面開催となり、海外での慰霊巡拝、ご遺骨の収集も実施出来ず、悲壮感が漂っていました。そうした中で、本会としてできることは何か検討を重ね、インターネット上に事務局のフェイスブックを開設し、本会はもとより、支部の活動を広く紹介することとしました。「平和への思いを繋げる」との意図は確実に浸透し、感染症予防に配慮しながら慰霊碑清掃や追悼式、研修会などに取り組む支部の様子が発信されると、活動に刺激を受けた支部から、続々と活動報告が寄せられ、孫世代の力を借りてウェブ上に発信されるようになりました。

こうした中で、終戦から七十五年となる八月十五日には、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国戦没者追悼式が挙行されました。両陛下の行幸啓がのきなみ中止となる中、開催さえ危ぶまれる状況下で、ご臨席頂いたことに、戦没者とその遺族に対する両陛下の温かい御心に触れ、深く感佩いたしました。

人類は困難に直面する度、英知を結集し、乗り越えてきました。天皇陛下のお言葉のとおり、今こそ皆で手を携え乗り越える時なのです。そして、かけがえのない命を無意味な戦禍で失わないために、私たちは粘り強く恒久平和な社会を目指して、活動を重ねて参りましょう。

結びに、ご遺族皆様のご健康と令和三年がより良い年でありますことを心から祈念しご挨拶といたします。

お慶び

厚生労働大臣表彰

令和２年12月10日 受賞

徳島県遺族会　元青年部役員
中野島地区遺族会　前会長
伊勢　昭氏

徳島県遺族会　前副会長・女性部長
鴨島地区遺族会　会長
近藤年江氏

徳島県遺族会　理事・女性部副部長
徳島市遺族連合会　副会長・女性部長
緒方和子氏

令和２年12月24日　徳島県保健福祉部長室にて

多年にわたり遺族会の発展と、会員の福祉の向上にご貢献をいただきました。心よりお慶びとお礼を申し上げます。

語り部事業のご案内

徳島県戦没者記念館にて毎月第２土曜日開催（13:30 ～ 14:30）
1月9日（土）・2月13日（土）・3月13日（土）は延期
（新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為）
4月の語り部についてはホームページにて開催の有無を掲載いたしますので、ご確認お願いします。
携帯電話のバーコードリーダーで右のQRコードを読み込んで下さい。

徳島県戦没者記念館　第十回 特別企画展

「徳島県遺族会の歩み」

昭和二十六年十二月の創立以来、英霊顕彰、遺族の福祉増進、戦争の歴史の伝承等、地道な活動を継続してきた、本会の七十年間の歩みをお伝えし、改めて戦争と平和について考えるために開催致します。

会員の皆様など、多数の方のご来館をお待ちしております。

徳島県遺族会の歩み

～徳島県戦没者記念館 第10回 特別企画展～

万代会館

徳島縣護國神社 旧社殿（城山山頂）

50周年記念誌

徳島県遺族会は昭和26年12月の創立以来、英霊顕彰、遺族の福祉増進、戦争史実の継承等について、地道な活動を長年継続し、一歩ずつながら、着実にその成果を上げてまいりました。

本会の活動の経過は困難の連続であったと言えますが、各時代に残してきた足跡は、会員の皆様の努力のおかげであります。

平成13年３月には、戦後直後から苦難の道を歩んできた遺族会活動の歴史を記した50周年記念誌を発刊し、また令和３年３月には徳島縣護國神社の移転、徳島県戦没者記念館の建設、戦没者を見送った家族像の建立などを記した70周年記念誌を発刊することとしております。

本特別企画展では、徳島県遺族会の70年間の歩みを皆様にご紹介し、先人の努力の証と、戦争の事実･平和の尊さについて語り継ぐ一助とするものです。

徳島県戦没者記念館 ーあしたへー

戦没者を見送った家族像

父の像

令和３年

2/11㊍▶3/14㊐

平日／9:00～16:30　土･日･祝祭日／10:00～16:30

場所　**徳島県戦没者記念館 あしたへ**

徳島市雑賀町東開21-1　電話 088-636-3212　http://izokukai.jp

入場無料

展示内容

- ■遺族会の設立趣旨、活動目的
- ■遺族会活動の歴史（年表）
- ■事業紹介（遺族会館の建設、沖縄「徳島の塔」の建立、遺骨収集、海外戦跡巡拝、父の像の建立、チャリティーショー、遺族大会、護國神社の移転、戦没者記念館の建設、戦没者を見送った家族像の建立等）
- ■映像上映（語り部事業）など

主催／一般財団法人徳島県遺族会
　　　徳島県戦没者記念館奉賛会

靖国神社参拝団募集

実施日／令和３年３月28日（日）～３月30日（火）

主な観光地　東京都内（靖国神社団体参拝、東京大空襲･戦災資料センター、六本木ヒルズ）武蔵陵墓地、小田原城址公園、箱根神社、芦ノ湖遊覧、鶴岡八幡宮など

旅行代金　９４，０００円

募集人員　４５名（最少催行人員25名）

締切期日　令和３年１月22日（金）
※ただし、満員になり次第締め切ります。

お申込先　〒770-8021
徳島市雑賀町東開21-1（護国神社内）
徳島県遺族会事務局
（TEL 088-636-3212）

日付		行程	宿泊
1	3/28（日）	徳島空港 9:15 ―JAL454→ 羽田空港 10:25/11:05 ══ 記念撮影後、ご参拝 ══ 靖国神社（昇殿参拝･遊就館見学･昼食）11:45 ══ 14:20 千羽鶴奉納後、館内見学 / ご夕食はホテルにて ══ 東京大空襲･戦災資料センター 15:00 ══ 16:00 九段下（泊）16:25	（九段下）ホテルグランドパレス
2	3/29（月）	美しい日本庭園のほか、75本の桜並木が続くさくら坂見学 ホテル 8:00 ══ 六本木ヒルズ毛利庭園･六本木さくら坂 8:30 ══ 9:30 昭和、大正天皇が眠る皇室墓地 ══ 昭和天皇 武蔵陵墓地ご参拝 10:30 ══ 11:30 鈴廣かまぼこの里（昼食）12:40 ══ 13:40 小田原桜まつり開催期間予定 / 日本で有数の本格的な山岳鉄道へご乗車 ══ 小田原城址公園･天守閣 14:00 ══ 15:20 小田原駅 15:30/15:52 ┼┼┼┼ 箱根湯本駅 16:10着…… …駅前にてお土産店散策 16:50 ══ 箱根湯本温泉（泊）17:00	（箱根湯本温泉）箱根パークスホテル吉野
3	3/30（火）	関東屈指のパワースポット / 桃源台～箱根町 ホテル 8:20 ══ 箱根神社 8:50 ══ 9:30 芦ノ湖遊覧（海賊船）9:50/10:10 ══ 10:45 箱根関所を完全復元 / 昼食 / 鎌倉のシンボル鶴岡八幡宮と、賑やかな小町通り見学 ══ 箱根関所跡資料館 10:50 ══ 11:40 箱根町 11:45 12:40 ══ 鎌倉･鶴岡八幡宮、小町通り散策 14:15 ══ 15:45 お弁当 ══ 羽田空港 17:00/18:30 ―JAL463→ 徳島空港 19:45	

※上記は令和２年10月21日現在の行程となっております。交通機関の都合等により、時間・コースは変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況、今後の社会情勢等により、実施内容の変更や中止になる場合もございます。あらかじめご了承願います。

第六回平和作文コンクール

本年、八月二十六日（水）徳島県戦没者遺族大会において表彰式を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、別途、十一月十二日（木）徳島県庁にて表彰状交付式が実施された。

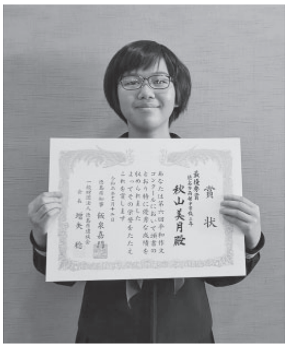
最優秀賞
徳島市南部中学校　二年　秋山　美月　さん

優　秀　賞
阿南市立阿南第一中学校　三年　田中　大賀　さん
徳島市南部中学校　二年　青黄　未悠　さん

第六回「平和作文コンクール」最優秀賞受賞作文

「徳島大空襲についての話を聞いて」

徳島市南部中学校二年　**秋山　美月**　さん



私は、今日のお話を聞くまで徳島大空襲についてほとんど知りませんでした。徳島にわざわざ爆弾を落とす理由もないと思っていたからです。

そのため、配布されたプリントを見てとても驚きました。徳島市の大部分が燃えたりしたことにもびっくりしましたが、私が一番衝撃を受けたのは、市民一人あたりに約三本もの焼夷弾が投下されたことです。

私の祖父もその当時、昭和町に住んでいたので空襲にあったそうです。小学校一年生だったので少しあやふやらしいのですが、そのときのことについて教えてもらいました。

「焼夷弾は水に落ちたら燃えんから、川に飛び込む人がようけおったわ。わしは親せきの家におったけど、その親せきは農家やったけん、夏は田んぼに水はっといたよ。そしたら焼夷弾が落ちてもいけるけん、みんなで田んぼに入っとったわ。焼夷弾が頭に当たってもうた人は亡くなってしもうたけどなあ。」

今まではあまり考えていませんでしたが、祖父の話を聞いて、大好きな祖父が亡くなってしまっていたかもしれないと思うとぞっとしました。同時に、平和というのはあたり前のように感じていましたが、なんだか細い糸の上に立っているように思いました。

戦後七十五年と、とても長い時間がたっています。もう当時のことを知る人も少しずつ少なくなってきてしまっています。しかし、この記録は絶対に風化させてはいけないことだと思います。私も祖父の話を少しでもたくさんの人に知ってほしいと思いました。できることは少ないかもしれませんが、それでも伝えていきたいのです。

令和３年度徳島県遺族会　主要行事予定

８月までに例年開催している主要行事の日程案です。開催等は理事会にて決定いたしますのであくまで「参考」としてご覧いただき、正式な行事日程等は理事会決定事項をご確認ください。
※「大きな行事は少しでも早く知りたい」との要望が多く寄せられるために掲載したもので、会として正式に決定しているものではございません。

役員等研修会
　日時：令和３年４月30日（金）13:00 〜 17:00
　場所：徳島グランヴィリオホテル

全国戦没者追悼式への参列
　日時：令和３年８月14日（土）〜 15日（日）
　場所：日本武道館（東京）ほか

徳島県戦没者遺族大会
　日時：令和３年８月24日（火）13:00 〜 16:00
　場所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

遺族会の動き

令和二年十一月〜十二月実施行事

（十一月）
2日　徳島県護国神社例大祭（護国神社）
7日　父の像清掃・第4ブロック（徳島中央公園）
10日〜11日　沖縄「徳島の塔」慰霊参拝
12日　平和作文コンクール表彰状交付式（県庁）
14日　語り部事業（戦没者記念館）　※延期
26日　正副会長会（護国神社）

（十二月）
7日　終戦75年全国戦没者慰霊参拝並びに遺族代表者会議（靖國神社）　※中止
12日　語り部事業（戦没者記念館）　※延期
19日　第八回70周年記念誌発行小委員会（護国神社）

令和三年一月〜令和三年三月行事予定

※新型コロナウィルス感染症対策のため変更となる場合があります。

（一月）
9日　正副会長会（護国神社）
9日　語り部事業（戦没者記念館）　※延期
17日　70周年記念誌座談会（護国神社）
26日　日本遺族会事務局長会議（靖国会館）
27日　日本遺族会青年部長会議（靖国会館）
28日　日本遺族会女性部長会議（靖国会館）
○　海外慰霊巡拝（台湾・バシー海峡）　※中止

（二月）
6日〜8日　日本遺族会青年部研修会（鹿児島県内）
13日　語り部事業（戦没者記念館）　※延期
中旬　父の像清掃・第5ブロック（徳島市中央公園）
19日　日本遺族会理事会（東京）
25日　理事・監事・評議員等研修会（護国神社）

（三月）
上旬　正副会長会、記念館運営企画委員会（護国神社）
上旬　第九回70周年記念誌発行小委員会（護国神社）
13日　語り部事業（護国神社）　※延期
下旬　理事会（護国神社）
28日〜30日　春の靖国神社参拝（靖国神社他）